

持続可能な農業づくりへの貢献

ウォーターセル株式会社

ウォーターセル株式会社



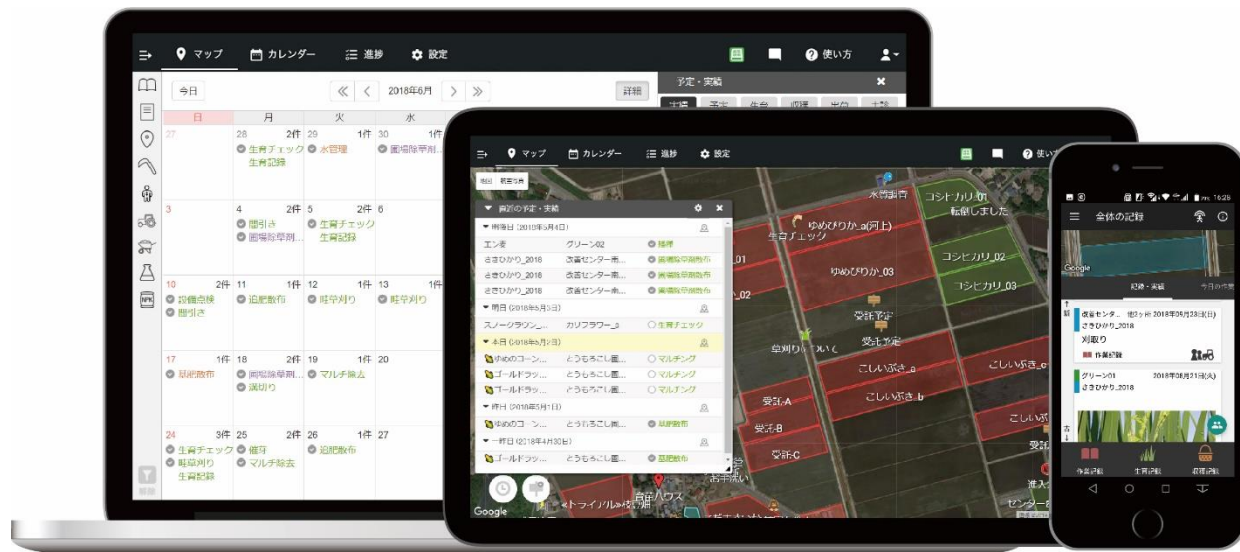
- 所在地：新潟県新潟市
- 設立：2011年7月
- 創業者：長井 啓友（IPA情報処理推進機構 未踏スーパークリエイター）
- 代表者：渡辺 拓也
- 従業員：34名（2023年4月現在）
- 主なサービス：
 - 営農支援ツール **アグリノート**
 - 営農情報共有ツール **アグリノートマネージャー**
 - 米取引マッチングサービス **アグリノート米市場**

営農に関するさまざまな情報を記録・集計・出力する 営農支援ツール

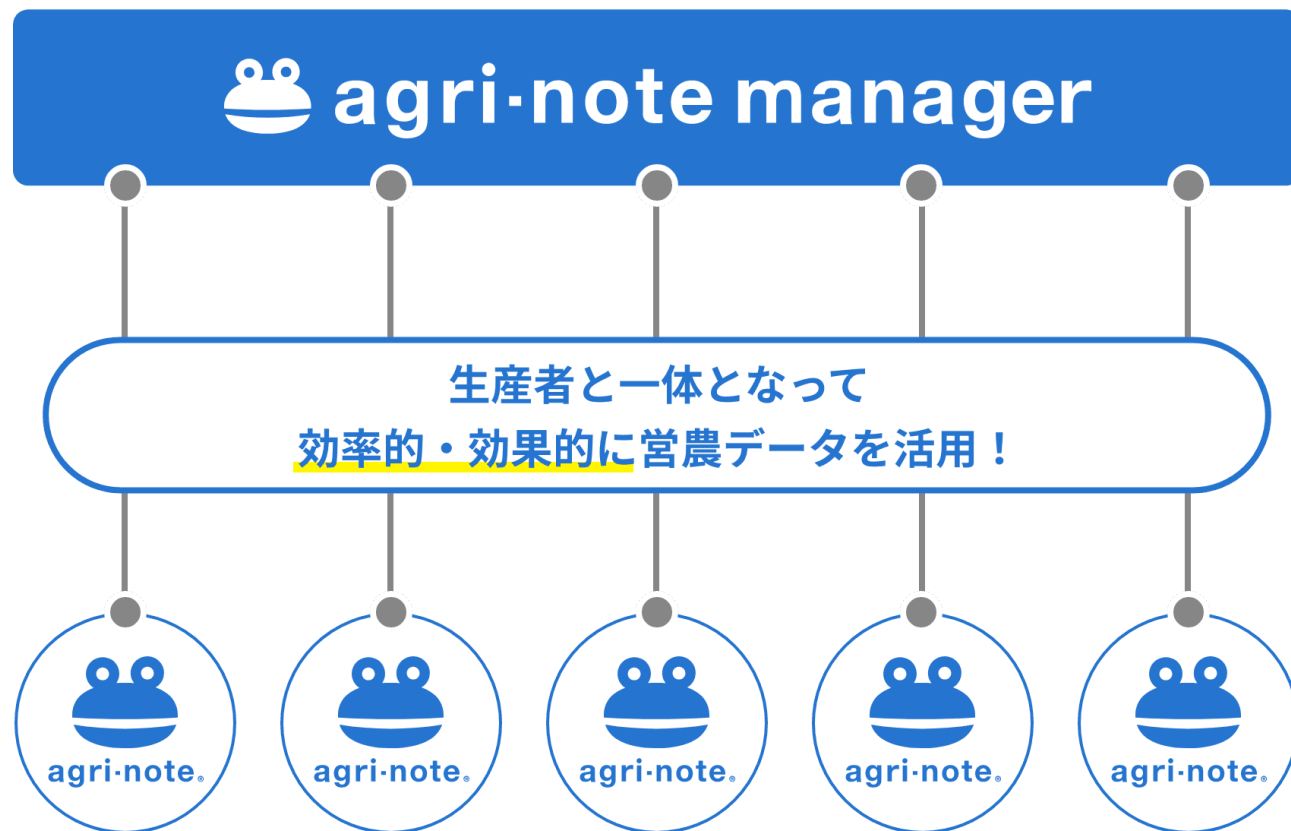


・今年で11周年

・ご利用組織数
19,000以上

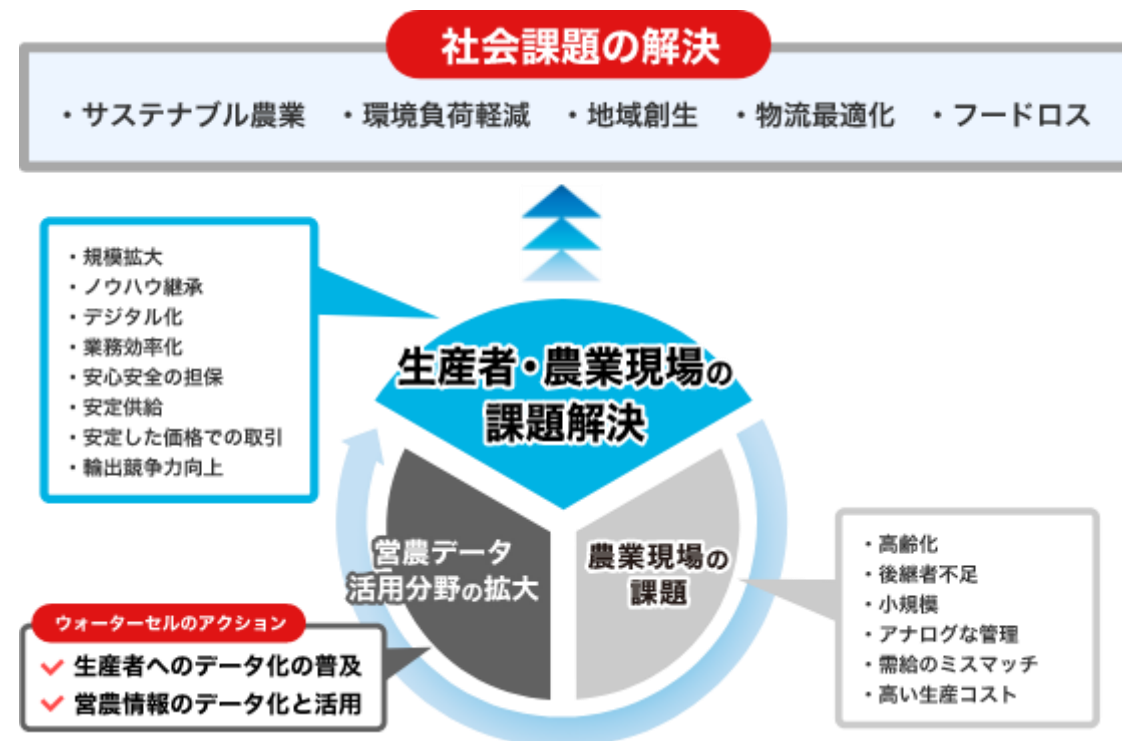
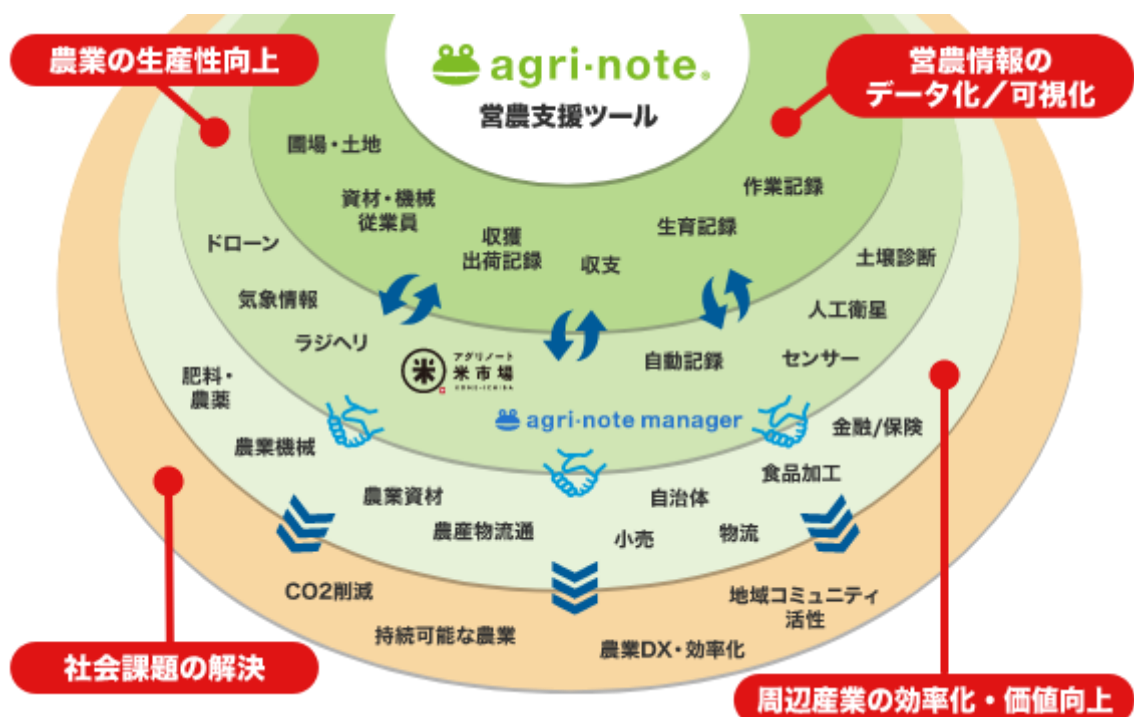


生産者が「アグリノート」に保存した 営農情報を集約し、コミュニケーション効率化を実現



- ・ 2022年9月に
サービス開始

生産者の役に立つ情報プラットフォームを提供し、 営農情報のデータ化、共有、連携で農業界の課題を解決



アグリノートとアグリノートマネージャーを活用し、 カーボンプレジット申請業務を効率化

作業記録		
▶	2018年4月11日 <input checked="" type="checkbox"/>	土壤改良材散布
▶	2018年4月13日 <input checked="" type="checkbox"/>	土壤改良材散布
▶	2018年4月19日 <input checked="" type="checkbox"/>	耕起

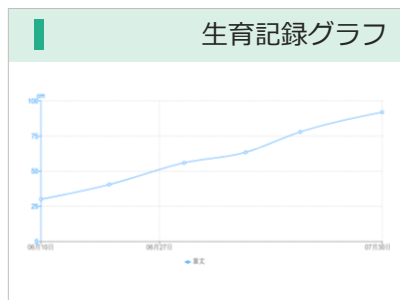
農薬別	
▶	バリアード箱粒剤 2回
▶	タフブロック 1回

農薬成分別	
▶	チアクロプリド 4回
▶	タラロマイセス フラバス 2回

肥料別	
▶	北越後ソイルスター 100kg
▶	ふくなり堆肥2号 200kg
▶	有機30魚沼ロマン側条専用(粒状) 50kg

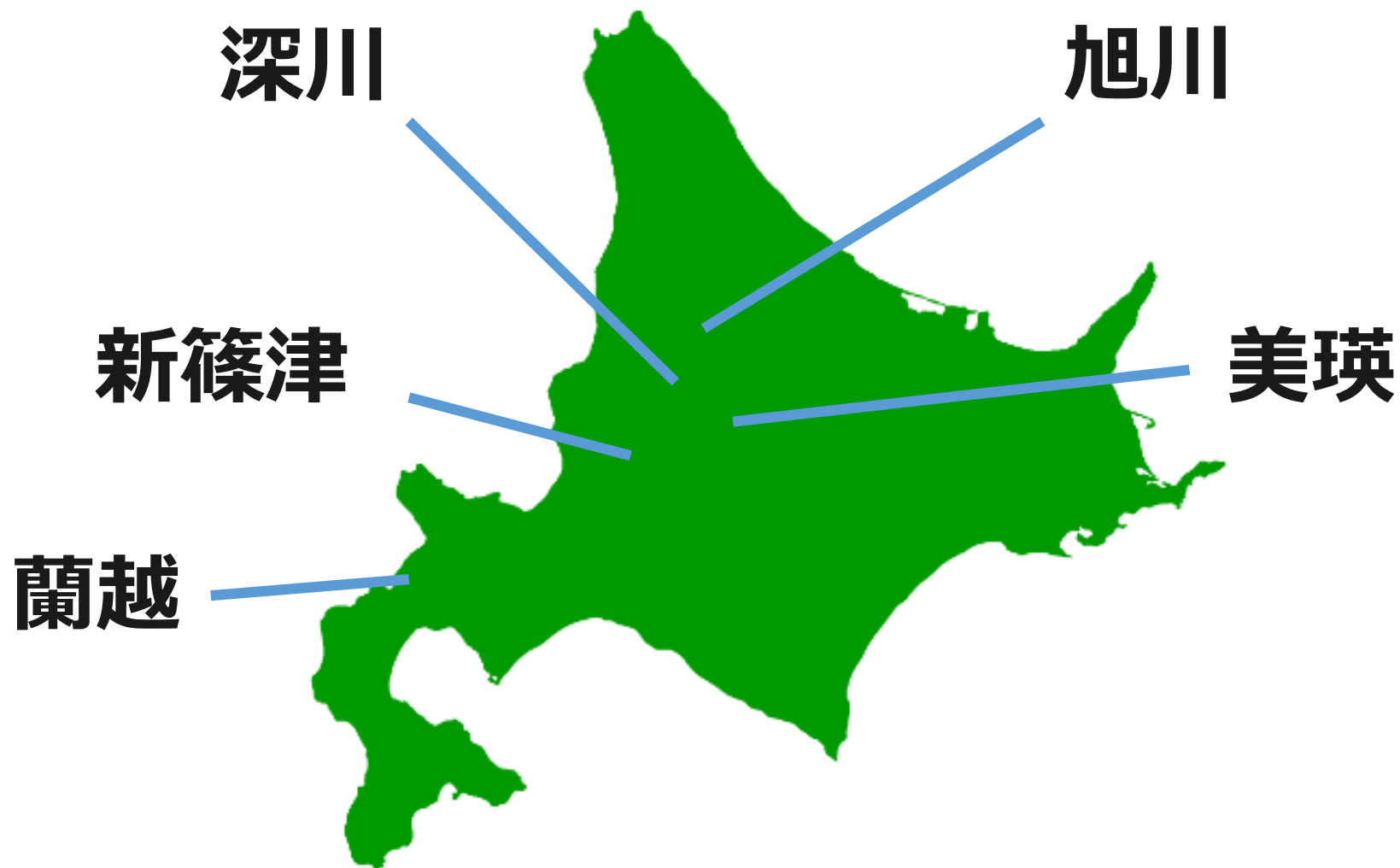
NPK単位別集計	
N	: 350kg (35kg /10a)
P	: 100kg (10kg /10a)
K	: 50kg (5kg /10a)

微量成分別集計	
石灰	: 0mg(0mg/10a)
苦土	: 0mg (0mg /10a)
ホウ素	: 0mg (0mg /10a)
マンガン	: 0mg (0mg /10a)



収穫等級別	
1等	検査後: 7俵 (60kg) (1.16俵/10a)
2等	検査後: 2俵 (60kg) (0.5俵/10a)
3等	検査後: 1俵 (60kg) (0.2俵/10a)

タイムライン		
2018年		
4月11日	<input checked="" type="checkbox"/>	土壤改良材散布 肥料: イセグリーン
4月13日	<input checked="" type="checkbox"/>	土壤改良材散布 肥料: 北越後ソイルスター
4月19日	<input checked="" type="checkbox"/>	耕起
5月10日	<input checked="" type="checkbox"/>	荒代掻き
5月11日	<input checked="" type="checkbox"/>	本代掻き
5月15日	<input checked="" type="checkbox"/>	移植
5月20日	<input checked="" type="checkbox"/>	除草剤散布 農薬: ゼータタイガーフロアブル
7月11日	<input checked="" type="checkbox"/>	生育記録 草丈: 72.2cm, 茎数: 37.2本/株, SPAD: 34.56
7月18日	<input checked="" type="checkbox"/>	生育記録 草丈: 74.2cm, 茎数: 39.2本/株, SPAD: 32.3
7月24日	<input checked="" type="checkbox"/>	追肥 肥料: 越のかがやき
7月27日	<input checked="" type="checkbox"/>	生育記録 草丈: 77.5cm, 茎数: 38本/株, SPAD: 38.12
7月31日	<input checked="" type="checkbox"/>	追肥 肥料: 越のかがやき
8月8日	<input checked="" type="checkbox"/>	生育記録 草丈: 82.4cm, 茎数: 26.64本/株, SPAD: 31.97
9月30日	<input checked="" type="checkbox"/>	収穫記録 計測したタイミング: 収穫時, 品質・規格: 乾燥重量, 収穫量: 2435kg



生産者の声

米の価値をあげたい

PRにつなげたい

副収入にしたい

収量・品質への影響
が気になる…

課題①

そもそもGHG可視化が困難

何をどう計算すればいい?
データ集めるの大変...

課題②

経済的インセンティブがない

やっても儲からないことは
やらない

解決策①

 agri-note®



金融機関

データを収集、
GHG排出量を計算

企業の求めるGHG算定
ロジックをアドバイス


解決策②

有利販売

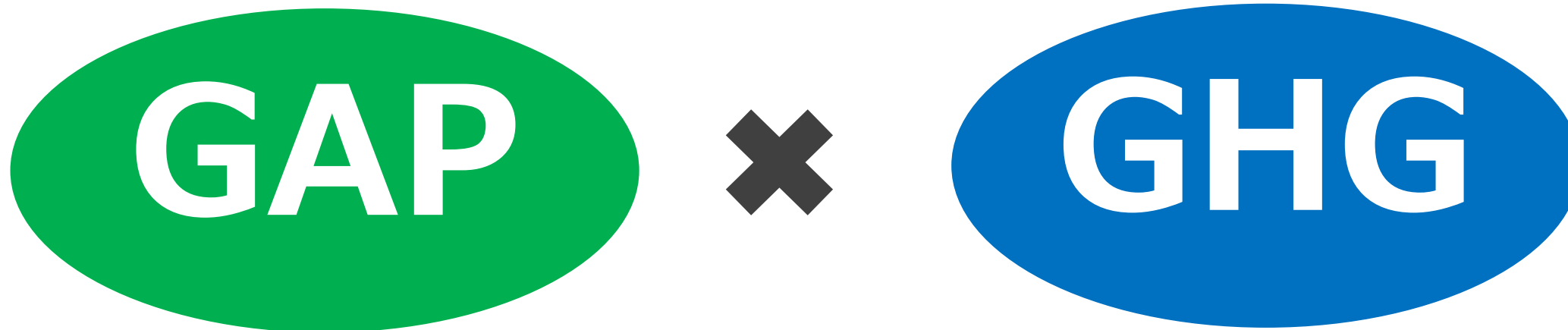
 agri-note manager

営農データを共有
農産物のブランド化、
有利販売に貢献

副収入創出

 green carbon

カーボンクレジットで
副収入創出



農産物の安全を確保し、より良い農業経営を実現するために、農業生産において、食品安全だけでなく、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組

**GHG排出量の削減を目的とする、カーボンクレジットへの取り組み等
カーボンファーマーミング取組**

GAPに取り組む/興味がある皆様へ

🍷アグリノート

無料モニター募集のご案内

この度、営農支援ツール「アグリノート」は農林水産省：GAPの取り組みを通じた生産工程管理ツールの活用支援事業の対象ツールに選定されました。

「アグリノート」の活用を通して国際水準GAPの取り組みを支援するための実証を行うにあたり、モニターにご協力いただける生産組織を募集します。

募集定員

先着300組織

対象

- GAPの取り組みに興味のある生産組織（すでにGAPを実践している生産組織も含む）
- 営農支援ツールの活用に興味のある生産組織（すでにアグリノート利用中の生産組織も含む）

特典

- 営農支援ツール「アグリノート」の利用料が1年分無料
- 国際水準GAPの取組に向けた「アグリノート」活用コンテンツの提供

モニター申込方法

1

アグリノート有料プランへ登録が条件となります。（ご入金
の必要はありません）

会員登録が
まだの方はこちら



2

申込みフォームより
必要事項を入力。
（申込完了後にお届けする
メールをご確認ください）

お申込みはこちら



プレビュー: 公開ページ (関係者...)

アグリ農園



私たちは新潟県で水稻を生産する生産法人です。有機肥料を使用し、農薬をなるべく使わない、地球環境に配慮した栽培をしています。私たちが生産するお米は、しっかりとした食感と、口に含んだ瞬間に広がる豊かな香り、甘みのある味わいが特徴です。地元の方々にはもちろん、全国各地からのお客様にも愛されている当法人のお米。私たちは、皆様においしいお米を提供するために、日々精進しています。私たちがのお米をぜひ一度ご賞味ください。(約200文字)

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)

[agri-farm-niigata.jp](#)

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)

応援メッセージを送る

この生産者の農産物

2023年産コシヒカリ

[agri-note](#)

プレビュー: 公開ページ (関係者...)

2023年産コシヒカリ



今年のコシヒカリは最高の出来栄です。香り高く、口当たりの良い粒が揃い、炊きあがりもふっくらと美味しいです。地球環境にも配慮した栽培方法で育てた自信作。ぜひ一度お試しください。(約100文字)

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)

育てたのは

アグリ農園

応援メッセージの送信もこちらから

[もっと詳しく](#)

温室効果ガス排出・削減量

★ ★ ☆

地域の慣行的な栽培に比べて温室効果ガス排出量を15%削減しています

[もっと詳しく](#)

プレビュー: 公開ページ (関係者...)

農薬

削減割合 3.5%

0.02 kg-CO₂の排出削減

農薬の使用量を減らすことで、農薬の製造などに伴って発生する温室効果ガスを削減することができます。

肥料

削減割合 17.6%

0.26 kg-CO₂の排出削減

肥料の使用量を減らすことで、肥料の製造などに伴って発生する温室効果ガスを削減することができます。

プラスチック資材

削減割合 3.6%

0.01 kg-CO₂未満の排出削減

農作物の栽培には農業用塩化ビニールなどのプラスチック資材が使用されます。これらの使用量を抑えることで温室効果ガスを削減できます。

燃料・電力

削減割合 △5.6%

0.51 kg-CO₂の排出増加

炭素貯留

削減量への貢献 18.9%

0.83 kg-CO₂の貯留

堆肥等を施用すると有機物に含まれる炭素が土壌に蓄積され、温室効果ガスの削減に寄与します。

計算方法について

- 上記の温室効果ガス削減量は、この作物の生産...

プレビュー: 公開ページ (関係者...)

作業の記録

作業期間 2023年3月1日～2023年10月1日

2023年3月20日	浸種
2023年3月30日	催芽
2023年4月1日	は種
2023年5月5日	定植
2023年6月10日	中干し(開始)
2023年6月20日	中干し(終了)

収穫の記録

2023年10月5日	収穫
2023年10月5日	乾燥調整

肥料の使用記録

窒素 (N)	リン酸 (P ₂ O ₅)	加里 (K ₂ O)
4.81 kg/10a	7.20 kg/10a	10.11 kg/10a

2023年4月20日	リンスター30
2023年4月20日	ホスピタ
2023年4月20日	けい酸カリプレミアム34
2023年5月1日	化成肥料12-18-14
2023年8月3日	化成肥料17-0-17

農薬の使用記録

使用回数(成分数): 0回(0成分)



www.agri-note.jp